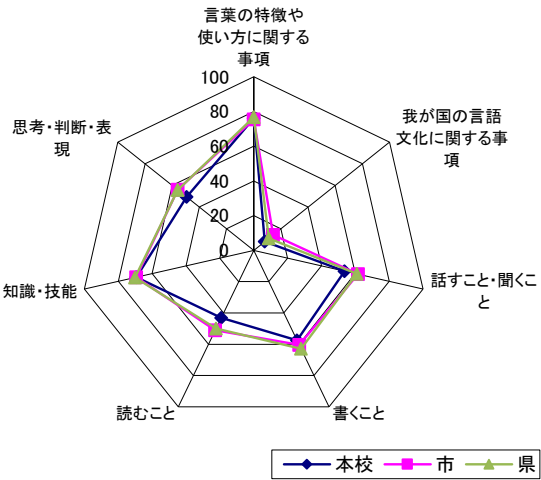


宇都宮市立城山中学校 第2学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方にに関する事項	76.1	75.5	76.7
	我が国の言語文化に関する事項	8.1	14.3	11.2
	話すこと・聞くこと	53.7	61.6	60.9
	書くこと	57.5	60.4	62.9
	読むこと	43.1	51.0	49.9
観点	知識・技能	69.3	69.4	70.1
	思考・判断・表現	49.4	56.0	55.9



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方にに関する事項	○この項目では市の正答率を僅かに上回っている。 ○漢字の読み書き共に、県の正答率を上回るか、近いポイントとなっている。 ●単語に分けて抜き出す問題では、県の正答率を大きく下回っている。	・漢字や文法の確認テストを取り入れている成果であるので、今後も丁寧に指導していく。 ・文法については、第1学年の学習内容を絡めて復習する時間を設けて、充実を図る。
我が国の言語文化に関する事項	●この項目では市の正答率を6.2ポイント、県の正答率を3.1ポイント下回っている。	・古典の授業の時には、仮名遣いについて繰り返し練習し、定着を図る。
話すこと・聞くこと	●この項目では市・県の正答率を5ポイント以上下回っている。 ●特に「話し手の話し方」についての問題では、市・県の正答率を15ポイント以上下回っている。	・話の中で、自分の考えの根拠となる内容を捉え、構成に生かし、工夫させる授業内容を取り入れる。 ・聞き取りテストを実施する前に、プレテストを実施し、前述の内容を確認するようにする。
書くこと	●この項目では市の正答率を2.9ポイント、県の正答率を5.4ポイント下回っている。 ○「8行から10行の文章で書く」問題では、市・県の正答率を上回っている。	・書くことの単元を指導する際に、以下のことに重点を置いて指導する。 ①条件②答え方(論の筋・構成の工夫)③自分の考えの書き方④記述の仕方(論理的な書き方)
読むこと	●この項目では市・県の正答率を5ポイント以上下回っている。 ○「文章の表現について述べた意見として適切なものを選ぶ」問題では、県の平均を上回り、市の平均とも同等であった。	・説明的文章では、段落の構成を捉える学習内容を丁寧にを行う。特に、文頭の接続語と例を挙げる段落に注目させる。 ・要旨を捉え、要約文をまとめる学習内容を充実させる。